職員研修での学び

令和8年7月2日

6月 29 日(月)に志布志市教育委員会の柏木康良指導主事を講師にお招きし、職員研修を実施しました。今年度より3･4年生が複式学級になり、「子供たちが主体的にいきいきと学ぶためには、教師がどのように関わっていけばよいか」について研修しました。

算数の学習でしたが、3･4年生の子供たちは、柏木先生のお話をよく聞き、与えられた課題やガイドの役割など張り切って行う様子がみられました。授業が終わると「えーっ、もう終わりですか。」と残念そうにつぶやく声が聞こえてきました。授業の感想を聞いてみると「楽しかった。」「もっとやりたかった。」等、充実した時間を過ごせたことが分かりました。

授業後は、職員全体で意見交換を行い、今回の研修で学んだ授業に臨む前の教材研究の大切さや明確な指示の出し方など早速実践に結びつけられることからまずは取り組んでいくことを話し合い、確認しました。

複式学級の特性を捉え、2学年が一緒に学び合うことができる「よさ」を生かしながら、今後も教育活動の充実に努めて参ります。職員にとっても深い学びある研修になりました。

学習活動を一斉に指導する様子

学習活動を説明し、見通しをもたせる様子

相互の考えを子供たち同士で伝え合う姿

子供と目線を合わせ、考えを引き出す姿

授業改善に向けた話し合いの様子

明日からの授業に取り入れる内容の確認